

研究に関する情報公開文書

研究課題： 病理画像解析による新たな肺癌診断システムの構築

研究責任者： 藤田医科大学 医学部 病理診断学講座 教授 塚本徹哉

研究目的：

肺癌は近年、特に増加傾向の著しい疾患であり、化学療法の進歩や分子標的薬の研究が進み、組織型により治療方法の選択が異なるようになってきています。そのため腺癌や扁平上皮癌、小細胞癌などの組織診断を厳密に行う必要性がでてきていますが、形態的に鑑別が困難な症例に遭遇することが少なからずあるのが現状です。

気管支鏡検査時に同時に採取される細胞を用いて診断する細胞診診断は形態診断であり、診断医は画像をパターン分析し診断しています。本研究では、コンピュータを用いた画像解析によって画像形態の特徴量を抽出し、人工知能の一つである深層学習法を用いて形態学的変化を識別する処理を開発し、診断補助ツールとしての有用性を検討、実際の臨床検体診断への応用を目的としています。

研究方法：

藤田医科大学第一教育病院において2015年～2017年間に気管支鏡検査時に細胞診検体を得ている標本を500例程度使用します。研究期間は～2021年3月31日を設定しています。

病理および臨床情報は、個人を特定できる情報（個人情報）を消去し、新たな番号を付与した上で、研究責任者および分担研究者のみが行うものとします。これにより、万が一不測の事態で情報が漏洩した場合でも個人の特定が不可能であるように配慮します。

発表に際し、名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

本研究の対象になられる方で、ご自身のデータの利用を除外してほしいと希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡下さい。除外のお申し出により不利益を被ることは一切ありません。

また研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究に支障がない範囲で資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、下記問い合わせ先までお申し出下さい。

問い合わせ先：

藤田医科大学 医学部 病理診断学講座

担当者：塚本徹哉

愛知県豊明市杣掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2319 e-mail: ttsukant@ujita-hu.ac.jp